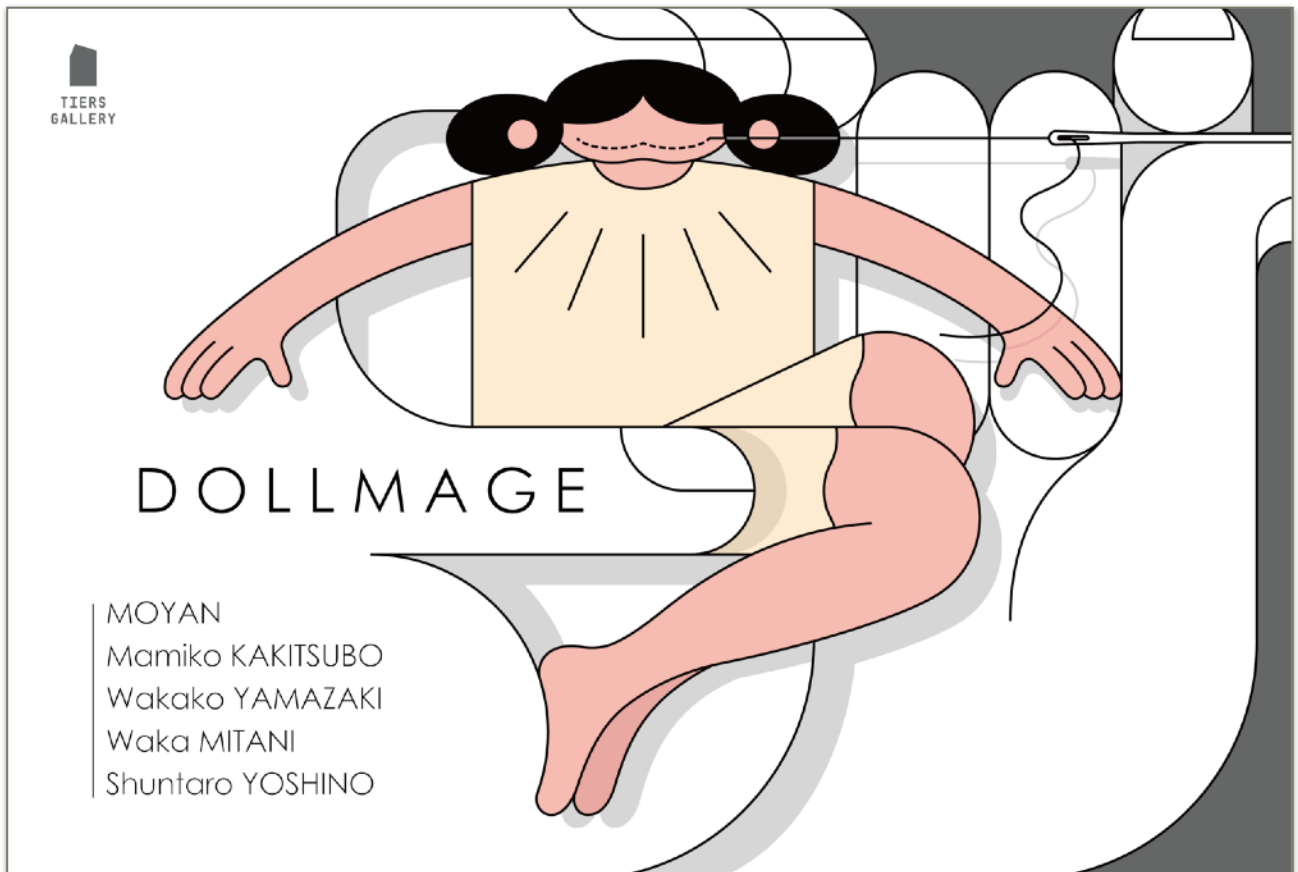


Press Release 2021.3.2

“人形”をめぐる美術展

「DOLLMAGE」



この度TIERS GALLERYにて、若手作家によるグループ展「DOLLMAGE」を開催いたします。

本展では柿坪満実子／三谷和花／MOYAN／山崎稚子／吉野俊太郎の計5名が、“人形（ニンギョウ/ヒトガタ）”を題材とした展覧会を構成いたします。つきましては本展を貴媒体でぜひご紹介いただきたく、何卒ご協力のほどをお願い申し上げます。

連絡先（代表）：吉野俊太郎

080-1228-1889

shntryshn@gmail.com

PRESS RELEASE

“人形（ニンギョウ/ヒトガタ）”をめぐる美術展を開催いたします。

人形は遠く紀元前からの人類の営みを物語るオブジェクトとして広く各地に発見されていますが、その多くが宗教的、呪術的な目的を抱えていたとされています。たとえば人形劇研究家の加藤暁子氏の著書『日本の人形劇』の中では、「小さい人間」として人間を比喩する存在であり、上から吊り下げられることによって人間と同じ地に立つことができていた、マリオネットのようなヨーロッパの人形像と比較して、日本の人形の源流は神事にあり、神社の祭礼などで神を喜ばせるものあるいは神に代わってに祝福をさずける存在として文楽のように下から差し上げられることが多かったと指摘されています。そうして加藤氏によって「神と人とのあいだをとりもつメッセンジャー」と喩えられる人形たちは吊り下げられるにせよ、下から差し上げられるにせよ、人々と物との境界に立ち上がる一つのオルタナティブな人格として、不思議と現代においても人々を魅了して止みません。本企画ではそんな現代社会の中で未だ「小さい人間」としても「メッセンジャー」としても大きな役割をもち続けていると考えられる“人形”に強く関心を持つ作家5名（柿坪満実子／三谷和花／MOYAN／山崎稚子／吉野俊太郎）が集結し、展覧会を構成します。

キリスト教の家系に生まれた柿坪は、自身もメダイなどの原型制作などに仕事として携わる一方、人類創造の神話に着想を得たヒトガタの作品を、テラコッタの技法を中心に制作しています。三谷はメルちゃん人形からラブドールまで、現代において「玩具」として扱われているニンギョウたちの姿態を（時には化粧を施しながら、）写真に収め、人間とモノとの境界線を探ります。既に画家として多くの展覧会で成功を収めてきたMOYANは古今東西の人形をモチーフとしながら、自身の身体観とその社会性を出発点とした鮮烈な作品を制作し、観る者の内面に強固なメッセージを投げかけます。京都府出身の山崎は布と糸を使って、不穏さ漂うヒトらしきシルエットを多く縫い上げてきました。時には仏像、時には天使などのイメージを抱える作品らは総じて縫い目をこちらに見せ、見る者の感情を幸福と不安の両端に引き裂くような効果を孕んでいます。「操演」をキーワードにした彫刻研究を行う吉野は、美術や演劇や人形劇などの異なるジャンルを舞台の名の下に接続し、身体とモノを隔てていた境界線の危うさを批評する作品を制作します。

本展のタイトルである「DOLLMAGE」は、Martine Leavittによって書かれたファンタジー小説『The Dollmage』（2001）に登場する賢女の呼び名から引用しています。Dollmageが作る人形は未来を左右する力を秘めており、それによって村は統治され守られてきました。本展で展示される作品はこのDollmageによって作られた人形らと同じようにただの無力なオブジェとしてではない、より高い象徴性と機能性とを兼ね備えたアイテムとして、展覧会を通して書き換えられ、再考されていくことでしょう。

PRESS RELEASE

【展覧会概要】

展覧会名	DOLLMAGE
会 期	2021年3月16日(火)-3月23日(火)
会場時間	11:00-19:00 (最終日は17:00まで)
休館日	会期中無休
料 金	入場無料
会 場	TIERS GALLERY 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-7-12
出品作家	柿坪満実子, 三谷和花, MOYAN, 山崎稚子, 吉野俊太郎

メインビジュアル WAKICO

【出品作家】



《someday somewhere》 (2021)

柿坪 満実子 KAKITSUBO Mamiko

1993年 東京都生まれ

2021年 東京藝術大学 美術学部彫刻科 在籍中

展示

2018年 グループ展「自由が丘×東京藝大 アート&デザイン・プロジェクト」 都内

グループ展「自由が丘の自由が猫」 都内

グループ展「ひみつきち」 東京藝術大学、東京

2019年 グループ展「東京藝術大学彫刻科二年 進級展」 東京藝術大学

グループ展「Tap Tap sculpture」 東京藝術大学、東京

グループ展「小平アートサイト よりみち芸術」 小平市中央公園、東京

学内研究展示「にんげん」 東京藝術大学、東京

グループ展「SHIBUYA HARAJUKU FASHION FESTIVAL」 the Virgin Mary、東京

2020年 グループ展「萬猫展」 フリュウギャラリー、東京

グループ展「WALLaby」 銀座蔦屋書店内GINZA ATRIUM、東京

PRESS RELEASE

受賞歴

2019年 東京藝術大学久米桂一郎奨学基金

制作

2019 年 小動物園 HARRY PIGGY 店頭オブジェ

教皇フランシスコ来日記念オフィシャルメダイ 原型



《私を私自身の内側に囲っているあれをぶち壊したい》（2021）*部分

三谷 和花 MITANI Waka

1998年 神奈川県生まれ

2021年 東京藝術大学 美術学部彫刻科 在籍中

展示

2018年 グループ展「自由が丘×東京藝大 アート&デザイン・プロジェクト」東京

2019年 グループ展「芸大の猫展」藝大アートプラザ、東京

グループ展「猫と猫たち展」ギャラリー美の舎、東京

個展「人間振り」東京藝術大学、東京

2020年 グループ展「raw objects」東京富士大学、東京

受賞歴

2019年 東京藝術大学宮田亮平奨学金



《Play》（2020）

MOYAN

1991年 埼玉県生まれ

2018年 東京藝術大学 美術学部絵画科 油画専攻 卒業

2020年 東京藝術大学 大学院美術研究科 修士課程油画技法・材料研究分野 修了

個展

2017年 「DOLLS」 un petit GARAGE、東京

2018年 「ICON」 un petit GARAGE、東京

2020年 「image」 MEDEL GALLERY SHU、東京

グループ展

2015年 「GEIDAI スカウティング@藝大ギャラリー」 丸ビル、東京

2016年 「第3回CAF賞作品展2016」 3331 Arts Chiyoda、東京

PRESS RELEASE

「“Group Show～ Sommes-nous heureux?”」 Bambinart Gallery、東京

「シェル美術賞展 2016」国立新美術館、東京

2017年 「ゲンロンカオス*ラウンジ新芸術校第2期生標準コース成果展『ハプニング（直接行動）を待ちながら』」 ゲンロンカフェ、東京

「ヤングアート台北2017」シェラトングランデ台北ホテル、台北

「art expo NY」 Pier 94、NY

「森山亜希新作展示」ラムフロム HINKA RINKA 銀座店、東京

2018年 「ブレイク前夜～次世代の芸術家達～ Part II」 Bunkamura Gallery、東京

「KUMA EXHIBITION 2018」スパイラルガーデン、東京

2019年 「Unspoken Toys」 MASATAKA CONTEMPORARY、東京

受賞歴

2015年 「第10回藝大アートプラザ大賞展」 入選

「GEIDAI スカウティング@藝大ギャラリー」 藝大アーツイン丸の内 (GAM)賞

2016年 「シェル美術賞2016」 入選

「第3回 CAF賞」 山口裕美賞

助成

2015年 東京藝術大学久米桂一郎奨学基金

2017年 公益財団法人クマ財団第1期クリエイター奨学金

2018年 東京藝術大学平山郁夫奨学金

メディア

2017年 BSフジ「ブレイク前夜～次世代の芸術家たち～」

2018年 HERS「服よりアート？」7月号掲載

月刊アートコレクターズ「写実ブームの最前線、豊かなバラエティ」12月号掲載

PRESS RELEASE



《cupido》 (2019)

山崎 稚子 YAMAZAKI Wakako

1995年 京都生まれ
2014年 京都市立銅駝美術工芸高等学校 卒業
2018年 広島市立大学 芸術学部美術学科 彫刻専攻 卒業
2020年 東京藝術大学 大学院美術研究科 彫刻専攻 修了

個展

2019年 「ダンス」 東京藝術大学、 東京

グループ展

2014年 「仙養ヶ原シンポジウム2014」 仙養ヶ原ふれあいの里、 広島
2016年 「つばみまつり」 Komati art place 、 広島
2017年 「家/House」 広島芸術センター 、 広島

PRESS RELEASE

- 2018年 「選」広島市立大学芸術資料館、広島
「パンドラの匣庭」光明寺會館、広島
「素材に問う」GALERIE SOL、東京
「ビーナスを綴じる」アートコンプレックスセンター、東京
- 2019年 「LIFE vol,2-#1」GALERIE SOL、東京
「Go Gono gg」GALERIE 吳天華、東京
「加々見太地・山崎稚子 展」ギャラリーせいほう、東京
- 2020年 「第68回 東京藝術大学 卒業 修了作品展」東京藝術大学、東京
「台東区奨励賞展」上野駅ショーウィンドウ、東京

受賞歴

- 2013年 「第34回美工作品展」京都市京セラ美術館 京都教育長賞受賞 学校保存賞受賞
- 2020年 「第68回 東京藝術大学 卒業 修了作品展」台東区奨励賞受賞



《Allocentric Room》（2020）*部分/ 前田春日美との共作

吉野 俊太郎 YOSHINO Shuntaro

1993年 新潟県生まれ

2017年 東京芸術大学美術学部彫刻科 卒

Royal Academy Schools（英）へ交換留学

2019年 東京芸術大学大学院美術研究科彫刻専攻 修了

小平市にてオルタナティブスペース「WALLA」をオープン

2021年 東京芸術大学大学院美術研究科 博士後期課程に在学中

展示

2014年 二人展「ゲームのルールは知るべきだ」代々木アートギャラリー、東京

2015年 学内研究展示「天井の位置」東京芸術大学、東京

学内研究展示「MAQUETTE REVIVALS！」東京芸術大学、東京

2016年 二人展「囚人は通夜にいきたい」アーツスペースココノカ、東京

学内個展「トゥルーマン・フリーク・ショー・ショー」東京芸術大学、東京

木彫研究室展示「木のシンギュラリティ」旧平櫛田中邸、東京

PRESS RELEASE

- 2017年 学内個展「ぼっぱないない」東京芸術大学、東京
二人展「理想の収納」東京芸術大学、東京
木彫研究室展示「木のシンギュラリティ#2」旧平櫛田中邸、東京
- 2018年 「KUMA EXHIBITION」スパイラルガーデン、東京
グループ展「みんな奴隷に厳しい」ギャラリー美の舎、東京
グループ展「でんちゅうストラット」小平市平櫛田中彫刻美術館、東京
木彫研究室展示「アトリエの末裔あるいは未来」旧平櫛田中邸、東京
- 2019年 修了制作展示「死んだらラインおくるね」東京芸術大学、東京
グループ展「@Human」ギャラリー美の舎、東京
グループ展「Mixed Material Arts vol.1 首像」麻布十番ギャラリー、東京
グループ展「別人」芸宿、石川
グループ展「東風」武蔵野美術大学 及び 東京造形大学、東京
グループ展「無人演劇祭」仲町の家、東京
グループ展「彫刻と家」旧平櫛田中邸、東京
二人展「Fire Work」ROJIBI、東京
- 2020年 グループ展「WALLAby」銀座蔦屋書店内GINZA ATRIUM、東京
グループ展「本のキリヌキ」瑞雲庵、京都

受賞

- 2016年 第37期国際瀧富士美術賞特別賞
2017年 サロン・ド・プランタン賞
平成藝術賞

助成

- 2016年 久米桂一郎賞
2017年 公益財団法人クマ財団第1期クリエイター奨学金

他 企画や執筆など

- 2020年 二人展シリーズ：嘔吐学vol.1「ユー体、後ケイ」
展評「みえないようにするしかけ」 / 「こればーと 全国美術館常設展評」寄稿
- 2021年 論考「君はともだち？芸術家と歩む“彼ら”についての断章」 / 『ユリイカ 2021年1月号 特集=ぬいぐるみの世界』寄稿
展評「常設、それはもう一つの男性彫刻」 / 「こればーと 全国美術館常設展評」寄稿